

平成27年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要
園芸部門

地域農業を下支えする多角的な経営展開、新たな農村活性化の方向性の提示

○氏名又は名称 有限会社 シュシュ（代表 山口 成美）

○所在地 長崎県大村市

○出品財 経営（ぶどう他）

○受賞理由

・地域の概要

大村市は、長崎県本土のほぼ中央部にあり、海洋性気候のため温暖で過ごしやすい気候となっている。シュシュがある福重地区は、大村市北部に位置し、日本なし、ぶどう、野菜等が生産される農業が盛んな地域で、「フルーツの里ふくしげ」と呼ばれている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

大産地ではないものの多品目が生産される地域特性を活かし、6次産業の確立と農業後継者の育成を目的に、平成10年に農家8戸が有限会社かりんとう（のちのシュシュ）を設立した。シュシュでは、①農産物直売所「新鮮組」の運営、②農産物の加工・販売、③レストラン運営、④食育・農業体験、⑤農業塾、⑥グリーン・ツーリズムのコーディネート、⑦農産物の生産等、地域農業を下支えする多角的な経営が展開されている。

・受賞者の特色

（1）経営の特色

- ① 生産者、販売者、消費者の距離感が最も近い直売所を目標に掲げ、あらかじめ栽培品目や出荷量等を協議することで、果物、野菜、花き、牛肉等の約250種類以上の商品を、年間を通じて出荷・販売できる体制が確立されており、農家の所得向上に貢献している。また、果物については、必ず試食販売を行うこととしており、農家が消費者の評価とニーズを真摯に受け止め、安売り競争にならないよう、個々の生産技術の向上につなげている。
- ② 農産物直売所に加え、アイス工房、パン工房、ぶどう畑のれすとらん、いちご収穫体験施設を併設し、団塊の世代を対象とした農業塾や収穫体験と連携した婚活事業等を行うなど、地域の資源を活用した農村地域の新たな活性化の方向を示す地域おこしの拠点となっている。

（2）技術の特色

観光農園で栽培している日本なし・ぶどうについては、食べやすさ等消費者のニーズに対応した品種を導入するとともに、栽培履歴のチェックや出荷前の目揃いを行うことで高品質果実を提供している。また、民間企業と連携した加工品の開発等を行っている。

3. 普及性と今後の発展方向

本取組は農村地域の新たな活性化の方向性を示すものであり、今後は、農家の高齢化に対応した集出荷体制の構築や労力不足に対する短期的支援体制の検討を行うことで、農家が農業だけで生活ができるように支援を進めていくこととしている。